

マツダ財団市民活動支援
「夏休みミニソーラーカー工作教室」報告書

開催日時 2020年8月2日(日)
第1回 10:00～10:55
第2回 11:05～12:10
第3回 13:00～13:45
第4回 14:00～14:45

場 所 宇部市多世代ふれあいセンター
3階 第3講座室

参加者 小学3～6年生児童 38名(応募者40名)

後 援 宇部市、宇部市教育委員会、(株)会社宇部日報社、(株)エフエム-きらら

スタッフ 殿河内誠、太田幹夫、木原裕子 (以上 UNCCA)

講 師 溝田忠人 (UNCCA 代表)

工作指導 松井民男 (UNCCA)

指導員 溝田忠人、碓有里、上田純二、近藤幸海、饒村千春、田中護
(以上応援者)

工作教室内容

1. 工作教室について・指導員紹介
2. 挨拶・太陽電池のお話 (工作時間不足のため、2回目以降、お話は中止)
 - 太陽電池のはなし
 - ・太陽電池はケイ素(シリコン)、リン、ホウ素の3原子できている。
 - ・リンの混じったシリコン結晶(n型半導体)と、ホウ素の混じったシリコン結晶(p型半導体)を貼付けて、光を当てると電子が移動し電流が発生する。
3. ミニソーラーカー工作
 - ・受付にて、検温、手指の消毒後、キットを受取る。
 - ・個性的なソーラーカーができるよう、プラダンキットの色を選ぶ。
 - ・6班に分かれ、各班2名が指導員1名と一つのテーブルに付く。
 - ・PPTにより工作手順を説明し、各指導員が工作を補助する。
 - ・工作
 - ①車輪に車軸受けを付ける。
 - ②シャーシにハンドルを取付け。
 - ③パネル台を組立て、シャーシに取付け。
 - ④車輪の取付け。
 - ⑤モーター取付け。
 - ⑥ソーラーパネル取付け。
 - ⑦コード結線、シャーシに取付け。
 - ・試走
 - テストコースで走行テスト
 - ・デコレーション
 - マーカー、シールを使ってオリジナルカーにする。



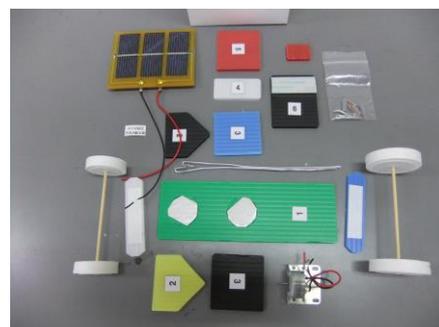
夏の子ども向け

**夏休みミニソーラーカー
工作教室**

ソーラーカーを作って太陽光発電
体験(試走)をしよう※マスク着用
8月2日①10時～10時40分②
11時～11時40分③13時～13時40
分④14時～14時40分⑤15時～15
時40分多世代ふれあいセンタ
ー小学3～6年生各12人(先
着順)※保護者同伴不可
①車輪②③④⑤と学校名、学

年、保護者氏名、参加希望時間
7月31日まで地球温暖化対
策ネットワーク(〒755-0032寿町
二丁目11-28、☎38-8183)
unccainfo@ybb.ne.jp

広報うべ
7月号
公告記事



写真(1)工作キット

・アンケート

4. 写真



写真(2)工作教室風景-1



写真(3)工作教室風景-2



写真(4)工作教室風景-3



写真(5)工作教室風景-4

5. その他

1) 新型コロナウイルス感染防止対策

- ①参加者及びスタッフ全員マスク装着
- ②参加者は受付にて手指の消毒、検温
- ③プラダンキットの色選びは互いの接触防止のためスタッフが渡す。
- ④会場は入口、窓を開放し通風する。
- ⑤3密を避けるため、教室の回数を増やし、1回の定員を減らし、1テーブルの着席人数を3名とし1m以上の間隔を空ける。又、保護者の参観を禁止する。
- ⑥指導員はフェースシールドを装着する。
- ⑦ボランティア全員によるキット製作を2名ずつ分割して実施する。

2) 参加者

「広報うべ」7月号に公告記事掲載。例年であれば、掲載後1週間で定員に達するが、午前の2教室の定員が満員になるのに2週間、午後の3教室は定員に達しないため、やむを得ず午後の1教室を中止した。

参加者(単位：人)

開始時間	参加人数	3年生	4年生	5年生	6年生	男子	女子
10:00	12	6	4	2	0	11	1
11:00	11	3	4	2	2	8	3
13:00	9	6	1	1	1	8	1
14:00	6	4	1	1	0	2	4
合計	38	19	10	6	3	29	9

○キット作製

- ・6/26、7/2、7/3、7/6 の4回、ボランティア6名によりキット製作を行う。
- ・構造が簡単で部品点数が少ないため、キット作りの作業時間は比較的少なかった。
- ・工作時にプラダンキットを間違えないように、番号シールを張り付けた。
- ・インターネット購買でソーラーモーター在庫が不足し入荷が心配されたが、なんとか必要数を確保できた。

○キット

- ①プラダンキットの色を選んでもらい、全員個性的なソーラーカーが出来あがった。
- ②昨年、同一正方形のプラダンキットの数が多いうえに色違いがあるため、工作の手順の説明時に混乱があったため、対策として番号シール貼り付けた。
- ③従来の組立主体のキットを今回は工作部分を増やしことで予想以上に工作時間が長くなり、予定時間を超過した。(工作手順の整理が必要)
- ④予備品在庫が少なくてヒヤリとした。

○進行

- ・会場準備、後片付けは、スムーズにできた。
- ・工作で説明内容が上手く届かず、時間に遅れが出た。

○参観者 17名、マツダ財団井上氏、宇部日報の取材があった。

以上